

月刊 MARUSHO

2017年 4月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



「あなたの会社の販促担当」まるカタVol.7配布開始します

販促ツールに展示会 全てまるカタに お任せください いよいよ配布開始です!



クイズ: 恥ずかしがり屋の私は誰でしょうか?

今回のまるカタはほんのリピンク色

冬の寒さから解放され、ようやく暖かくなってきました。桜も咲き始めて、スタートの春ですね。待ちに待った?!まるカタVol.7がまもなく配布開始されます。販促ツールのご発注やアイデアに悩むお客様「まとめて考えられて、ヒントになるようなカタログがあったら便利だけど・・・」という声から誕生したまるカタもVol.7になりました。社員自ら選び抜いた販促ツールを毎回掲載しています。今回は、そんなまるカタをいち早くご紹介いたします!

今回のまるカタのテーマ色は、春にちなんでピンク色です。ピンク色は「恋愛・しあわせ・思いやり」などの女性らしさをイメージさせる色ですが、どうやらピンク色にはアンチエイジングの効果もあるそうです。まるカタも販促だけでなく、アンチエイジングまで貢献できたら嬉しいです。ピンク色にまつわるアンチエイジングのお話は、まるカタ内の「Maru shot」のページに掲載しています。

「Maru shot」では、「コピーなどにある数字の不思議な心理的効果」のお話やPOPの豆知識なども読み物としてお届けしています。コーヒブレイクにいかがでしょうか?



Vol.07

Vol.06 Vol.05 Vol.04 Vol.03 Vol.02 Vol.01

担当自ら選んでいます!

今回掲載されている商品は150点以上。毎号新しく増えています。まるカタは目新しい商品を載せるのではなく、社員自ら、「お客様にとって効果と価格に無理なく導入できる販促ツール」を基準として厳選したツールを紹介しております。お客様、その先のターゲット(消費者として)の両方の目を持った私達だからこそ「30代女性のユーザーをターゲットに考えているお客様にはこんな販促ツールが響くのではないか」などと考え、ターゲットに響く販促ツールを自信を持ってお届けしております。「こんな時はどんな販促ツールがおススメなの?」と担当営業にお気軽にご相談ください。

大切なお客様のご紹介

Vol.7より、丸庄と長くお付き合いしてくださっている大切なお客様をご紹介するページが新たに加われました。お客様の事業内容や最新情報などをお届けいたします。スタートとして、丸庄と同じく足立区に根をおろし、足立区の発展と一緒に見守ってきた元気な企業様をご紹介させていただきます。



丸庄情報はもちろん、北千住・足立区情報など
お得な情報をまるイロFacebookにて毎週更新中!
励みになりますので、
皆さんの「いいね!」を
お待ちしております!





名刺の豆知識

新年度が始まり、初めて名刺を持つ方、異動などで名刺を新しく作り直したという方もいらっしゃると思います。この時期何かと名刺を眺める機会が増えますね。ビジネスの基本として今回は名刺の豆知識をご紹介します。

名刺の起源

名前が書いてある紙なのに「名刺」。なぜ「紙」ではなく、「刺」なのでしょう？「刺」とは、ちょっと怖い気もしますが、名刺の起源を探るとその理由がわかります。名刺の起源には、有力とされる2つの説があります。いずれも中国を起源とするものですが、ひとつ目の説は、約2000年前にさかのぼります。当時、地位のある人に取り次ぎを頼む際に「名刺」を使用していました。ということかという、まだ紙が発明されていなかったこの時代、「高貴な人」や「地位の高い人」への取り次ぎを行ってくれる人に、竹を削って名前を入れたものを渡していたとされています。名刺の「刺」という字には、もともと「鋭利なものを表面から内部へ刻み込む」という意味があり、竹に自分の名前を刻みつけるという行為が「名刺」の語源だとされています。

もうひとつは、唐の時代、訪問先が不在であった場合、木や竹の札に自分の名前を刻みつけたものを、戸口に刺して訪問したことを知らせていました。この名を刺すという行為自体から「名刺」という言葉が生まれたとされています。どちらが名刺の起源なのでしょう？ 現在では、1984年に三国時代の武将の墓で見つかった竹の札が、現存する最古の名刺とされていてひとつ目の説が有力視されています。

ちなみに日本で名刺が使われるようになったのは、江戸時代からで、和紙に手書きされた物を用いて、訪問先が不在だった場合、ふたつ目の説のように

戸口に挟んでいたようです。その後、開国し西洋から印刷技術が伝わったことにより、現在のように印刷された名刺が使われるようになりました。現在、名刺は、世界で年間100億枚ほど使用されているという話がありますが、そのうちの7、8割は日本で消費されていると言われています。

縁起のいい名刺

どんな名刺かという、舞妓さんが名刺代わりに渡す千社札。これを「花名刺」といいます。普通の名刺の半分ほどの大きさで、季節を表した柄や、干支、道具など、様々な柄が描かれ花街の名前と舞妓さんの名前が印刷された華やかなものです。大きさは、縦6センチ、横2センチ程度。舞妓さんからいただく花名刺は、お財布に入れておくと金運が上がるという縁起物としても有名で、手にした人は大切に持ち歩いているようです。なぜかという、舞妓さんの名刺は「福が舞い込む(舞妓む)」という語路合わせから、縁起が良いものとされています。よって財布に入れておくと「お金が舞い込む」、手帳にはさんでおくと「仕事が舞い込む」となるわけです。何か良い語呂合わせを見つけて、自分の名刺も持っているのと縁起の良い名刺にしてみたいですね。



過去のメールマガジンでは、「世界一のセールスマンが使っていた名刺とは？(vol.128)」というタイトルで営業の神様と呼ばれたセールスマンの名刺もご紹介いたしました。丸庄サイトのメールマガジンバックナンバーで確認できます。▶ [週刊marusho](#) [バックナンバー](#)

実用性の高いノベルティと言えばコレ!

オリジまるノート

御社オリジナルの表紙がつけられるので、特別な商談、初めての訪問で印象に残ります。実用性が高いので相手の手元に残りやすい人気の販促ツールです。

まるカタVol.7発行キャンペーンとして
5月末までにご注文のお客様には・・・

通常価格 ¥200/1冊(1,000部)

¥150にてご提供いたします!

詳しくは、弊社営業担当までお気軽にご相談ください。

Tel. 03-3881-2131 (代)

A5サイズ



御社オリジナルデザイン(完全データ入稿)と当社デザインからお選び頂けます。

中面は3種類から選べます!!

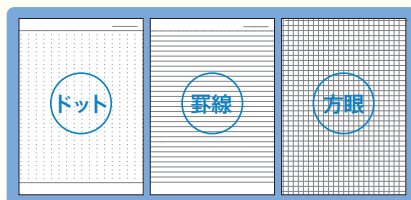


表2

表3



表2・表3は新商品の告知や会社紹介(完全データ入稿)とカレンダーからお選び頂けます。

丸庄オリジナルノート活用術

丸庄では初めてのお客様への訪問時に、ここでご紹介するノートにお客様のお名前を入れた帯を付けて、御礼としてお渡ししています。お名前が入っていることで、サブライズをご提供すると同時に当社の事を印象付けるアイテムとして、とても役立っています。(帯はオプションとなっております。ご興味がある方は営業までお問い合わせ下さい。)